

## 第3報 夫妻の家事責任の共同化をめぐる実態と意識

○昭和女大(院)堀内かおる 同女文研 伊藤セツ 同短大 天野寛子 森ます美  
 瀬沼頼子 日本女子大(非) 天野晴子 大船高校(非) 井野上真弓

目的：第3報は、女子差別撤廃条約を受けて、固定的な性別役割分業観の見直しがなされている今日的な状況をふまえ、世田谷区の調査結果を用いて、家事責任における夫妻の共同化の現状と意識の分析を行ったものである。

方法：調査方法・調査対象の特徴は第1報と同様である。家事的生活時間の分析に加えて、家事参加に関する自己評価、配偶者の家事参加に対する評価、配偶者に対する期待に関するアンケート結果を比較、考察した。

結果：1.表に示した家事的生活時間から、以下の結果を得た。①常勤の妻の家事的生活時間は、無職の妻の半分以下であり、その差は25時間23分である。②夫の家事的生活時間は、最も長い妻常勤の夫で4時間19分であり、夫妻の家事分担率は、夫17.4%、妻82.6%である。常勤の妻であっても、夫の約5倍の時間を家事労働に費やしている。

2.アンケートの分析から、夫の家事参加に対する夫の自己評価と妻の評価には、相違が認められる。また、妻が夫に期待する家事分担の内容は、妻の職の有無・勤務形態別に異なっている。

週推計家事的生活時間 (単位：時間、分)

	妻無職		妻パート		妻常勤	
	夫	妻	夫	妻	夫	妻
調理/片付け	0.10	19.31	0.23	15.35	1.07	9.38
掃除/住生活管理	0.21	7.37	0.24	4.41	0.40	2.10
洗濯/衣生活管理	0.08	6.34	0.00	4.15	0.30	2.37
裁縫/編物	0.00	1.41	0.00	0.37	0.00	0.16
世話/介護	0.00	0.40	0.00	0.54	0.11	0.24
育児/教育	0.14	3.32	0.07	0.46	0.37	2.37
買物	0.45	6.20	0.54	3.59	1.14	2.50
合計	1.38	45.55	1.48	30.47	4.19	20.32